

平成 28 年（2016 年）11 月 29 日

戦前・戦中の中国北部の様子を伝える「華北交通アーカイブ」を公開 ～宣伝活動用写真と交通網データをリンクした研究データベース～

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所（NII、所長：喜連川 優、東京都千代田区）コンテンツ科学研究系准教授 北本 朝展（きたもと・あさのぶ）が構築に参画した、満鉄^{(*)1}の流れをくむ戦前・戦中の国策会社の宣伝活動用写真や交通網データなどを収録したデータベース「華北交通アーカイブ」のプロトタイプ版が、本日 11 月 29 日より、情報・システム研究機構の「人文学オープンデータ共同利用センター」準備室^{(*)2}のサイト内で公開します（<http://codh.rois.ac.jp/north-china-railway/>）。

このアーカイブは二つの部分から構成されています。第一に、日中戦争開戦直後から終戦まで中国北部（華北）で鉄道やバスなどの運行を担っていた日本の国策会社、華北交通株式会社^{(*)3}が宣伝活動用に撮影・収集したストックフォトのアーカイブです。国立大学法人京都大学人文科学研究所にネガとともに残されていた約 3 万 5000 枚の「華北交通写真資料」を同大学地域研究統合情報センターがデジタル化したデータの一部を対象に、キャプション（タイトル）や撮影場所などのメタデータ^{(*)4}を各写真に付与して整備しました。

第二は、華北交通が輸送事業を行っていた交通網のアーカイブです。紙に記録されていた華北交通の路線図を参考に駅や路線をデジタル地図上にプロットし、華北交通の路線図をデジタル化しました（別紙・図）。さらに、華北交通写真を「駅」や「路線」でタグ付けすることで、駅名や路線名から写真が検索できるようになりました。これは人文学オープンデータ共同利用センターと NII、学校法人東洋大学が進めた共同研究に基づく成果です。

今後は「華北交通アーカイブ」という研究データベースを活用しながら、写真のテーマや撮影場所から華北交通の活動を明らかにする研究活動を進めていく計画です。また、戦時中の宣伝活動用写真という背景を踏まえて現在はウェブサイトで画像を公開していませんが、今後の一般公開に向けて詳細な調査研究にも取り組んでまいります。

【「華北交通写真」の一般公開】

11 月 29 日より 12 月 25 日まで日本カメラ博物館（東京都千代田区）^{(*)5}で「秘蔵写真 伝えたかった中国・華北——京都大学人文科学研究所所蔵 華北交通写真——」が開催され、「華北交通写真」が初

めて一般公開されます。新たにプリントされた写真約 110 点や関連資料などが展示されます。来館者は展示室内に設置されたタブレット端末で「華北交通アーカイブ」の写真を拡大縮小しながら閲覧することが可能です。

【「華北交通写真」について】

ストックフォトには、新線開発、愛路活動など交通業務に関係する出来事や、沿線の資源や産業、歳時、遺跡、市場に集う人々など、現地の様子が生き生きと写し出されています。坂本万七、吉田潤、加藤正之助、西亨ら日本人カメラマンによって撮影された 70 年以上前の中国風物は魅力的です。しかし、これらは記録写真、ニュース写真ではなく、日中戦争以降の日本による広報文化外交の観点で写され、ストックされた写真です。当時の中国を伝えると同時に、同地で日本が関わった写真による宣伝が如何なるものであったのかをも示唆しています。（「秘蔵写真 伝えたかった中国・華北——京都大学人文科学研究所所蔵 華北交通写真——」の説明より）

以上

〈メディアの皆様からのお問い合わせ先〉

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所

総務部企画課 広報チーム

TEL:03-4212-2164 E-mail : media@nii.ac.jp

-
- (*1) 満鉄： 正式名称は「南満州鉄道株式会社」。明治 39 年（1906 年）に設立された国策会社。旧満州（現中国東北部）で鉄道事業のほか製鉄所や炭鉱などを展開。昭和 20 年（1945 年）まで続いた。
- (*2) 「人文学オープンデータ共同利用センター」準備室： 平成 28 年 4 月 1 日、情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設に設置。NII コンテンツ科学研究系准教授の北本朝展が室長となり、NII と統計数理研究所との共同研究、および国内外の人文学研究機関との連携を軸に、人文学オープンデータの共同利用という課題に取り組む。来年 4 月にセンター化予定。
- (*3) 華北交通株式会社： 日中戦争開戦直後の昭和 12 年（1937 年）8 月、満鉄の北支事務局として天津に設立。その後、中国華北で経済開発事業を行う北支那開発株式会社の子会社となり、昭和 14 年 4 月に華北交通として独立。鉄道やバスなどを開発し、旅客や資源の運送を担った。敗戦により消滅。
- (*4) メタデータ： 写真に関する付加的な情報を指す。「華北交通アーカイブ」では写真 ID、タイトル、台紙 ID、駅、路線、撮影時間、撮影者、分類番号、検閲印、送付先、使用目的、備考の 12 項目。
- (*5) 日本カメラ博物館： 東京都千代田区一番町 25 番地 JCII 一番町ビル B1F。開館時間は 10 時～17 時、毎週月曜日休館。入館料無料。<http://www.jcii-cameramuseum.jp/index.html>。「秘蔵写真 伝えたかった中国・華北」は同館内の J C I I フォトサロン、J C I I クラブ 25 で開催。

〈図〉「華北交通アーカイブ」の「華北交通 路線図」

